

## 東広島の物流企業、ミャンマーの物流整備に着手

### ～(株)エムケー、JICA 調査事業に採択～

国際協力機構（JICA）は「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において、株式会社エムケー（東広島市、松川慎代表取締役）が提案する、『「ヤンゴン・マンダレー・ムセ」幹線間における高品質な両荷物流事業実現に向けた事業基礎調査』（ミャンマー）を採択しました。

“アジア最後のフロンティア”と呼ばれ、経済成長が著しく日本企業の進出先としても高い注目を集めるミャンマー。他方で、その成長を阻んでいるのが物流です。システム化されておらず、往路または復路どちらか一方しか荷物を積まない“片荷輸送”で輸送コストが非常に高く、倉庫の物品管理やドライバーの安全管理も杜撰。物流面の整備が更なる経済成長のカギとなっています。



ミャンマーのずさんな倉庫管理



エムケーのミャンマー支社（写真：エムケー提供）

(株)エムケーは、広島県内有数の物流企業。あらゆる面で高品質が求められる大手コンビニチェーンのドライ食品物流を一手に請け負い、安全安心で円滑な物流サービスを提供し顧客の信頼にえています。

こうした実績の下、ミャンマーの物流事業参入に乗り出した同社。既にミャンマーに支店を設立し、現地企業との合併による物流サービス会社設立及びサービス開始に向け準備を進めています。

本調査では、具体的な物流案件の発掘や、パートナーとなる優良物流会社の発掘、輸送上の諸経費やドライバー人材等の実態調査を行い、適切な配車・運行管理で往復路の積荷を可能とし、低価格で高品質の“両荷”物流サービスの実現を目指します。物流への懸念が緩和されれば、日本企業のミャンマー進出の更なる機会創出も期待されます。

「日本の現場で築いた経験を活かしてミャンマーの物流発展に貢献し、日本をアピールすることで地元広島の活性化にもつなげたい」と松川社長も力強く語ります。

※この調査は、日本の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」として実施されます。

基礎調査は、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及び ODA 事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2015 年度は昨年 9 月に公示を行い、40 件の応募のうち 17 件が採択されました。契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

●参考：(プレスリリース)基礎調査 2015 年度公示の採択結果について

URL：[http://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/ku57pq00001pm6r5-att/fs\\_20150904\\_result.pdf](http://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/ku57pq00001pm6r5-att/fs_20150904_result.pdf)

以上

#### 【本件に関する問い合わせ・申込み先】

JICA 中国 総務課 担当：中村、西山  
 TEL：082-421-6300 FAX：082-420-8082  
 E-mail：cictad@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ  
 元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

